

英語教員スキルアッププロジェクト研修会

○期日：平成30年8月8日（水）、9日（木）、10月5日（金） ※小・中学校教諭対象

○場所：県立奄美図書館

地区の英語教育担当者の指導力向上をねらいに、英語教育推進リーダーである下伊倉大輔教諭（伊佐市立大口小学校）、押川真紀教諭（瀬戸内町立阿木名中学校）を講師に迎え、3日間で14時間、外国語活動、外国語科の指導法改善の研修を行いました。



文字の扱い方について学ぶ（小学校）



言語活動の充実を図る手立てを学ぶ（中学校）

高校教育課高校教育係
川上 隆博主任指導主事兼係長の講演

「小・中・高をつなぐこれからの英語教育について」という演題で、英語教育を取り巻く環境の変化、新学習指導要領の概要、小・中・高の連携の在り方、公立高校入学者選抜の状況等について、詳細な資料を基に、具体的にお話しくださいました。



〔学びの声〕

- ・ いきなり子供に文字を書かせるのではなく、ゲーム活動を取り入れながら、体験的に学ばせていくなど、文字指導の方法（読み方に慣れ親しませる→識別させる→発音させる→書きなぞらせるなど）が具体的に分かり、ぜひ授業で生かしてみたいと感じました。
- ・ 生徒を引き付けるための教材の効果的な活用方法（生徒の興味を高めるようなリアリティのあるものを示す、クイズ形式にして出すなど）が参考になりました。
- ・ 川上先生の話から、小・中学校、高等学校の共通の目標が「コミュニケーション能力を図ろうとする態度の育成」ということが分かり、小・中学校、高等学校がそれぞれどのような授業を展開しているのか、参観に行くなど、連携がより大切だと感じました。学習指導要領を熟読し、さらに目標や内容について理解していきたいです。